
本日のおやつ。

犬兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本日のおやつ。

【Nコード】

N 6 5 2 7 Q

【作者名】

犬兎

【あらすじ】

小説同盟「本日のおやつ。」にて提案されたお題についての三題噺を投稿します。

この小説は「犬兎」の投稿する「本日のおやつ。」です。

小説投稿例（後々削除します）

小説同盟「本日のおやつ。」の活動を始めました。
メイン活動は三題噺となっております。

活動内容は同盟メンバーが提案したお題について小説を書き、それの「味」を決めて小説を評価するというものです。面白い小説が書けるかどうかは結局のところ才能ですので、そこは評価せず文法的な誤りなどの指摘・表現に関してのアドバイスを行って、みんなで小説書きのスキルを向上させていこうという目的の元、同盟を立ち上げました。

あくまで評価して決めるのは味です。小説が面白いかどうかなんて個人の自由ですので、そこに関しては触れないように活動していきましょうと思います。

これは、小説タイトルの記入例として、仮に投稿したものです。
実際の三題噺を投稿し次第、この章は削除します。

同盟メンバーを募集しておりますので、参加希望者はブログ「本日のおやつ。」にどうぞ。

参加条件は、「何か書いてみたいと思う人」です。才能とか、文章能力とか関係なく参加してください。初心者大歓迎です。希望があれば、元文芸部部长である私が指導します。

では、いい小説家に巡り会えることを祈りつつ・・・。

【麦のお題】「王道」「家族」「ノートパソコン」(前書き)

タイトル：家族は王道のノートパソコンを買う。

・・・タイトルだけでお題を消化するのは反則です。
そんなわけで、タイトルとは全く関係ない本編をどうぞ。

【麦のお題】「王道」「家族」「ノートパソコン」

その日、ノートパソコンを買おうと思った。

何せこのご時勢だ。情報化社会の「化」の字もとつくに消えうせた昨今に、パソコンの無い家なんて未だに黒電話を使っているような田舎だけじゃないだろうか・・・？

・・・失礼。俺もまだパソコンを持っていないのだった・・・。

とはいえ、新品を買うようなお金は無い。
しかたなく、高架下にある中古PCの店に行く。

「最近のパソコンはいろんな形があるなあ・・・」

パソコンが一気に進化してから、もう十年近く経ったのだ。型もサイズも、性別や種族も色々である。

髪の毛の長いパソコン、短いパソコン。エルフみたいな耳のパソコンや、イヌミミのパソコンまである。

体系や身長も色々だ。俺よりも背の高いものから、100?にも満たないモバイルPC・・・とにかく何でもある店だ。

店頭に飾られているパソコンたちを眺めて、俺はいいのが無いかなと吟味する。

その中で、見覚えがあるのを発見した。

「うわ・・・リセーナシリーズX-17a・・・」

このタイプのパソコンが一般に浸透したとき、一番最初に発売されたパソコンが、このリセーナシリーズだ。いうなれば、現代パソコンの王道機種である・・・が、いつてしまえば旧型のマイナーチェンジである。X-17aはリセーナシリーズの中でも唯一のノートタイプで、軽くて持ち運びに便利だが、頭も軽いのが難点だと聞いたことがある。

つまり、値段はお手ごろだが、性能もその程度のヤツだ。規制前の製品なのか頬のラインも無く、見た目は人間とまるで相違ない。

・・・余裕で買える値段だ。そりゃあそうだろう。六年以上前のマシンだ。

ふと、隣にあるパソコンに目が行く。

「ヤクモシリーズもいいなあ・・・」

リセーナとは打って変わっての最新機種。国内のメーカーが作ったものなので、デザインも和風で美しい。しかし、値段も高く、どうにも手が出ない。

「・・・ローンで、ヤクモか・・・一括でリセーナか・・・」

非常に悩む。

だが、そこは貧乏学生の性。

結局安さに惹かれてリセーナを購入。

それが、俺のパソコンユーザー人生の始まりだった・・・。

+ + +

「あー・・・お前、USBはどこに差すんだ？」

「USBってなんですか？」

「・・・取説だと、口にくわえさせる・・・ってあるな」

「えー。やだなあ。不衛生で」

「機械が衛生面を心配するなっ」

+ + +

パソコンとの共同生活は、困難を極めた。

+ + +

「こんなに配線ばかり差したらダメですってば」

「うるさいなあ・・・ディスプレイとキーボードだけだぞ?」

「線が絡まって私がいらいことになってます」

「・・・どう動いたら亀甲縛りになるんだよ!?」

+ + +

なにせ、型落ちの旧式。しかも特別頭も悪いしどんくさい。自分で充電も出来ないしディスプレイもキーボードも、マウスに至るまで、全部有線接続だ。

道でヤクモシリーズとすれ違つと、なんか恥ずかしい気分になる。それでも、パソコンを買い換えようとは一度も思わなかった。

そうこうして、気づけばもう三年も、コイツと一緒にいるのである。

+ + +

「そういえば、ヤクモシリーズがお安くなるって聞きましたよ?」

「そうなのか?」

「・・・買い換えます?」

「・・・いや、まだいいかな」

「そんなこと、もう三年も言ってますね」

「もうそんなになったか？」

「・・・私を捨てないでくれて、ありがとうございます」

「まあ、家族みたいなもんだからな」

+ + +

とりあえず、これから彼女との生活が続くのだろう。
まだまだ、コイツとの縁は切れそうにないな。

【麦のお題】「王道」「家族」「ノートパソコン」（後書き）

ウチがかつて書いてた小説のスピンオフな世界観で書いてみた。口
ボット型のパソコンが一般に浸透している世界です。

まあ、「ちょびつつ」みたいな世界だと思えばいいよ。

インパクトが大事だと思ってこんな展開にした割には、話が伸びない感じだね。

短編じゃなかったら、もう少しマシになるかもしれない。

やっぱスランプなのかもしれないなあ・・・。

では、これからも精進しますぜ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6527q/>

本日のおやつ。

2011年10月6日19時25分発行